

主 催
後 援

公益財団法人 虚子記念文学館

芦屋市・芦屋市教育委員会

国際俳句交流協会・俳句ユネスコ登録推進協議会・公益社団法人 俳人協会

公益社団法人 日本伝統俳句協会・ホトトギス社

第十八回虚子生誕記念俳句祭

入 選 句 集

第十八回虚子生誕記念俳句祭 入選句集に寄せて

「虚子生誕記念俳句祭」も第十八回を迎えることができました。毎年欠かさずこの会を開催することができますのはひとえに文化を愛し、俳句を愛する皆様のおかげと厚く御礼申し上げます。

今回の行事の募集句を行いましたところ、一般の部二〇二名、九六四句、青少年の部九三六名、一、七五〇句の作品が寄せられました。俳壇の次代を担う青少年の部に多くの作品が寄せられましたことを大変嬉しく思います。これらはみな非常に質の高い作品ばかりで、厳正な審査のもとに選考が行われ、その結果をここに入選句集の小冊子としてお届けする運びとなりました。

入賞された方々に対し心よりお慶びいたしますと共に、次回には更に多くの方々からの参加をお待ちしております。この俳句祭がさらに充実して参りますことを祈念しております。

令和七年（二〇二五年）二月

虚子記念文学館長 稲畑 廣太郎

一般の部

虚子生誕記念俳句大賞

虚子の世を呼び出してゐる鉦叩

大阪

石橋 玲子

虚子生誕記念俳句奨励賞

小走りに躓く先の師走かな

兵庫

中村 純代

天国にまつすぐ伸びる大冬木

兵庫

伊東 伸子

芦屋市長賞

白き息オリオンに触れ透き通る

京都

大西としみ

芦屋市教育長賞

大仏に日本最古の秋思かな

兵庫

奥田 好子

審査委員奨励賞

目で話し耳そば立てて恋の猫	大阪	北上美佐子
星解け青女の指をこぼれ落つ	兵庫	岩永 静代
雲の筋あまた神有月の里	大阪	中谷まもる
小さきも濃きも淡きも帰り花	京都	山崎 貴子
鷹去りて海原どこまでも碧し	兵庫	清瀬 環
六甲の奥の奥まで冬夕焼	兵庫	道中 義臣
火恋しバーの名入りのマッチ箱	兵庫	小柴 智子
地震の地の三十年や初日の出	兵庫	田村恵津子
綿虫と遊んでをりし詩心	兵庫	岩水ひとみ
手袋の主を待つてゐるベンチ	石川	辰巳 葉流

青少年の部

虚子生誕記念俳句大賞

ひこうきの空までとんだシャボン玉
ローラスインターナショナルスクール（年中）
東京 おくだこうた

虚子生誕記念俳句奨励賞

手のひらに寒さ染み入る朝の鍵
学習院女子高等科2年
東京 田中 乃愛

私にも優しくしよう星月夜
学習院女子高等科3年
東京 篠田瑠璃奈

芦屋市長賞

自由とは風を纏いし仔馬かな

甲南高等学校3年

兵庫 北浦 檜

芦屋市教育長賞

桜咲きいともついにランドセル

甲南中学校1年

兵庫 郡山 悠翔

審査委員奨励賞

夏の夜想ひにふけるひめりんご

跡見学園高等学校2年

東京 露久保来実

秋の風しぜんの声がきこえたよ

西宮市立鳴尾北小学校1年

兵庫 吉田 羽玖

夏服も今日懐かしいものとなる

学習院女子高等科3年

東京 長濱屋未穂

冬の空一人孤独の一等星

跡見学園高等学校2年

東京 石井 遥

しちごさんしゃしんいっぱいうれしいな

南くさか保育園

大阪 柚木 都杏

カナディアン・アカデミー4年

夕やけを追いかけてながら空を見る

兵庫 野黒 栞央

甲南中学校2年

災害も勝ちぬく人のあたたかさ

兵庫 白鳥 蒼馬

神戸中華同文学校(中2)

炎天下何を見てるのスイックス

兵庫 中西 鳳華

兵庫県立芦屋国際中等教育学校5年

雨上がり石に触れたら夏の音

兵庫 有馬 翼

和歌山市立名草小学校5年

ほととぎす鳴いてはじまるラブレター

和歌山 立入 あかり

一般の部 稲畑廣太郎 選

特選

銀の風の数だけ花芒 神奈川 坂口 和代
 赤き糸鞆に詰めて神の旅 香川 原 道子
 白き息オリオンに触れ透き通る 京都 大西としみ

入選

目で話し耳そば立てて恋の猫 大阪 北上美佐子
 夕日影孤独背負ひて穴惑 福岡 鶴田 ゆき
 小さきも濃きも淡きも帰り花 京都 山崎 貴子
 漣の秋を削つてゆきにけり 香川 岩瀬由美子
 火恋しバーの名入りのマツチ箱 兵庫 小柴 智子

佳作

帰省して鍬に降り回されてをり 岡山 池田 純子
 虚子の世を呼び出してゐる鉦叩 大阪 石橋 玲子
 凧にいつもの街の違ふ顔 兵庫 玉手のり子
 雪女郎遠目に見たる厨の灯 兵庫 岩永 静代
 息をするやうに経読む十夜かな 大阪 上紺屋葉月
 初鴨の一羽を綺羅に見失ふ 鳥取 棕 則子
 吟味して木の葉拾ふや三頭身 兵庫 高杉 靖子
 やうやくに竹馬乗れて日は暮れて 兵庫 横山 脩子
 貼り替へて障子に影の若返る 兵庫 小林 智子
 綿虫と遊んでをりし詩心 兵庫 岩水ひとみ

一般の部 坊城俊樹 選

特 選

小走りに躓く先の師走かな 兵庫 中村 純代

天国にまつすぐ伸びる大冬木 兵庫 伊東 伸子

子規虚子の青山峨々と天高し 石川 福島 広秋

入 選

百年の露の滲みし虚子の句碑 福岡 石橋 武子

星解け青女の指をこぼれ落つ 兵庫 岩永 静代

鷹去りて海原どこまでも碧し 兵庫 清瀬 環

通学の子ら泳がせて稲穂波 和歌山 山本 容子

懐手解き糶市のじゃんけんぽん 兵庫 齊木 富子

佳 作

手袋の主を待つてゐるベンチ 石川 辰巳 葉流

先頭の声濡れてゐる霧の尾根 兵庫 岩水ひとみ

人攫ひはじまりさうな虎落笛 兵庫 小柴 智子

ぶり大根女将は阿波の浦育ち 兵庫 柳生 清秀

寒禽の声の森より抜け出さず 香川 岩瀬由美子

月光是夜を透明にしてしまふ 福岡 鶴田 ゆき

寒禽の群れ合ふことのなき孤高 兵庫 深尾真理子

虚子の世を呼び出してゐる鉦叩 大阪 石橋 玲子

碁敵に待った許され木瓜の花 神奈川 加藤 多作

ピエロより子へ風船の手渡され 兵庫 柄川 武子

一般の部 和田華凜 選

特選

虚子の世を呼び出してゐる鉦叩
 帰路一人独りにあらず月の道
 大仏に日本最古の秋思かな

大阪 石橋 玲子
 大阪 石橋 玲子
 兵庫 奥田 好子

入選

閉ざされし星見台にも星流れ
 雲の筋あまた神有月の里
 大聖樹街を一つにしてをりぬ
 六甲の奥の奥まで冬夕焼
 地震の地の三十年や初日の出

大阪 石橋 玲子
 大阪 中谷まもる
 香川 岩瀬由美子
 兵庫 道中 義臣
 兵庫 田村恵津子

佳作

凍星の楽鳴り止まぬ三瓶の野
 綿虫と遊んでをりし詩心
 二日目も酢莖添へある坊泊り
 ひと日とて同じ日は無し日記果つ
 平凡の裏の非凡や亀の鳴く
 寅さんに似し人見つけ祭かな
 鉛筆を落として覚めし昼寝かな
 黎明の空を切り裂く鵲高音
 小鳥来てちよつと幸せ置いてゆく
 区切りなきことに区切りを年の暮

鳥取 前田 千
 兵庫 岩水ひとみ
 兵庫 玉手のり子
 長崎 白石 彌生
 大阪 石橋 玲子
 神奈川 加藤 多作
 岡山 池田 純子
 石川 正藤 宗郎
 兵庫 中村 純代
 石川 辰巳 葉流

青少年の部 稲畑廣太郎 選

特 選

ひこうきの空までとんだシャボン玉
ローラスインターナショナルスクール(年中)
東京 おくだこうた

秋の風しぜんの声がきこえたよ
西宮市立鳴尾北小学校1年
兵庫 吉田 羽玖

冬の空一人孤独の一等星
跡見学園高等学校2年
東京 石井 遥

入 選

しちごさんしゃしんいっぱいうれしいな
南くさか保育園
大阪 柚木 都杏

夕やけを追いかけてながら空を見る
カナデイアン・アカデミー4年
兵庫 野黒 栞央

災害も勝ちぬく人のあたたかさ
甲南中学校2年
兵庫 白鳥 蒼馬

チャイム鳴り夕日に帰る赤トンボ
跡見学園高等学校2年
東京 安部 彩乃

スカートに囁くような秋の風
学習院女子高等科1年
東京 菅原 杏珠

佳 作

ほととぎす鳴いてはじまるラブレター
和歌山市立名草小学校5年
和歌山 立入あかり

マンシヨンの屋上に出て待つ花火
池田市立池田小学校3年
大阪 池田あやか

甲子園見るたび夏のおいする
甲南中学校2年
兵庫 鈴木 悠真

あの日見た打ち上げ花火鮮明に
甲南中学校2年
兵庫 松田 悠臣

クリスマスツリーの下で手を繋ぐ
甲南中学校2年
兵庫 松村 琉生

春の朝気づくとみんな動いてる
甲南中学校2年
兵庫 野口 創史

秋の空心の叫び呑み込んで
学習院女子高等科3年
東京 中村 心咲

ソーダ水飲めば昔に向かう道
跡見学園高等学校2年
東京 菅野 真由

紅葉散り静寂宿す古都の風
学習院女子高等科2年
東京 岩澤 璃奈

毛糸編む思い出作りもこもこと
学習院女子高等科1年
東京 栗田 春香

青少年の部 坊城俊樹 選

特 選

夏の夜想ひにふけるひめりんご

跡見学園高等学校2年
東京 露久保来実

夏服も今日懐かしいものとなる

学習院女子高等科3年
東京 長濱屋未穂

ひこうきの空までとんだシャボン玉

ローラスインターナショナルスクール(年中)
東京 おくだこうた

入 選

早朝の地の宝石か霜柱

跡見学園高等学校2年
東京 和賀 望

まつててね花火大会誘うから

跡見学園高等学校2年
東京 内田 実花

静けさに蟬の鳴く声探す夜

跡見学園高等学校3年
東京 伊井 彩乃

駆け抜ける背に刻まれし汗、涙

学習院女子高等科3年
東京 林 枝莉花

砂浜で一人で食べるかき氷

甲南中学校1年
兵庫 野澤 岳

佳 作

私にも届いて欲しい天の川

学習院女子高等科1年
東京 齋藤 心美

サイダーの泡立ち上がる海の色

関西学院高等部2年
兵庫 高田 凜

手のひらに寒さ染み入る朝の鍵

学習院女子高等科2年
東京 田中 乃愛

ドッグラン帰ったそうな冬の犬

兵庫県立芦屋国際中等教育学校5年
兵庫 梶屋 櫻

紫陽花は曇り空との契約者

跡見学園高等学校2年
東京 増田帆乃佳

白息が行き着く先は一等星

跡見学園高等学校2年
東京 三浦 晴日

私にも優しくしよう星月夜

学習院女子高等科3年
東京 篠田瑠璃奈

うろこ雲あくびしながら見る空に

学習院女子高等科3年
東京 坂元 海春

ポケットに食べ残されたさつまいも

甲南中学校2年
兵庫 堀田 昊佑

犬つれて金木せいの花さがす

川越市立広谷小学校5年
埼玉 三戸 沙織

青少年の部 和田華凜 選

特 選

自由とは風を纏いし仔馬かな
甲南高等学校3年 兵庫 北浦 檜

手のひらに寒さ染み入る朝の鍵
学習院女子高等科2年 東京 田中 乃愛

桜咲きいともついにランドセル
甲南中学校1年 兵庫 郡山 悠翔

入 選

見上げたら時間が止まる冬の空
跡見学園高等学校2年 東京 宮原 菜羽

私にも優しくしよう星月夜
学習院女子高等科3年 東京 篠田瑠璃奈

一片に一語の重み寒椿
跡見学園高等学校2年 東京 野口 柚奈

炎天下何を見てるのスフィックス
神戸中華同文学校(中2) 兵庫 中西 鳳華

雨上がり石に触れたら夏の音
兵庫県立芦屋国際中等教育学校5年 兵庫 有馬 翼

佳 作

一票を握る心や秋の暮
学習院女子高等科3年 東京 篠塚 琉那

帰り花郵便屋さん追い越して
学習院女子高等科1年 東京 片岡 眞子

読書する少女の方へ秋の風
跡見学園高等学校2年 東京 小堀 華菜

武庫川の空をつらぬくたこの糸
甲南中学校2年 兵庫 大槻 一翔

各停の一人一人の冬日向
中央大学杉並高等学校3年 東京 林 真悠子

単語帳今日の葉は赤紅葉
学習院女子高等科2年 東京 安齋 綾花

夕やけの海の匂いの風の中
カナデイアン・アカデミー4年 兵庫 野黒 栞央

候補者の朝のあいさつ冬木の芽
宝塚市立御殿山中学校3年 兵庫 武田 奈々

メモ帳の切れ端秋と書いてみる
学習院女子高等科1年 東京 畑中 結奈

初もうでおみくじ引いてガチャ回す
甲南中学校2年 兵庫 杉本 湧大

第18回虚子生誕記念俳句祭投句数内訳

一般の部	964句	202人
青少年の部 (内訳)	2,750句	936人
幼稚園以下	4句	2人
小学校	52句	14人
中学校	579句	133人
高等学校	2,115句	787人
合 計	3,714句	1,138人

令和七（二〇二五）年二月発行

第十八回虚子生誕記念俳句祭入選句集

公益財団法人 虚子記念文学館

〒六五九―〇〇七四

兵庫県芦屋市平田町八―二二

TEL（〇七九七）二一―一〇三六

FAX（〇七九七）三一―一三〇六

